

ふじのみや 体協だより

第19号

発行 富士宮市体育協会
〒418-0007 富士宮市外神東町115
市民体育館内
☎0544-58-7799
発行人：石川俊秋 印刷：フジ印刷(有)



第37回 富士宮市民スポーツ祭 総合開会式・優秀区表彰式

「市民ひとりスポーツ」の実践をめざし、昭和五十五年から毎年行われて来ました市民スポーツ祭は、今年で三十七年目を迎えました。

競技は、三〇種目を行い五月から三月まで実施されます。開会式に先だって富士宮吹奏楽団の演奏のもとに、体協加盟三

十一団体が各会旗を先頭に堂々と入場行進を行いました。

総合開会式では、前年度の優秀区の淀師区(大規模区)、木の花区、高原一区、野中二区、大和区、山宮四区(中規模区) 山宮二区(小規模区) が表彰されました。

選手宣誓は、優秀区として初受賞の木の花区体育部長の植松斉氏が代表して、「積極的に市民スポーツ祭に参加し、堂々とプレーすることをちかいます。」と力強い宣誓をしました。

平成二十八年 表彰式並びに新年を祝う会

富士宮市体育協会表彰規定に基づく、平成二十八年表彰式並びに新年を祝う会が一月二十三日に、花の湯に於いて行われました。

功労賞は、佐野征宏氏(剣道)、竹川忠氏(スケート)、工藤紀代氏(山岳)、が受賞しました。

優秀指導者は、朝日豊氏(スケート)、佐野良雄氏(柔道)、又優秀チームとして、全国高等学校総合体育大会登山競技団体女子の部で七位の富士宮西高女子チーム、東海高等学校総合体育大会登山競技男子の部で優勝した富士宮西高男子チームに優秀チーム表彰が送られました。

優秀選手として、国際クラス別パラリンピック卓球大会三位の石川恵子選手、台湾オープン卓球選手権大会二位の土井健太郎選手、東海相撲選手権大会団体優勝の望月健太選手、佐野健太選手、全日本シニアバドミントン選手権大会三位の西島知彦選手、全日本社会人クラブバドミントン大会優勝の佐野明彦選手、同大会の二位橋口知美選手、全国高等学校総合体育大会陸上棒高跳び二位の竹川倅生選手、国民体育大会弓道四位の深澤里香選手、全日本スピードスケート選手権大会六位の塩川和音選手、全日本小学生ソフトテニス

選手権男子団体三位の赤池聖矢選手、鈴木洸我選手、望月幸也選手、片岡優希選手、相撲競技では全国女子選抜ひめじ大会五年の部四位の武井苺選手、同大会五年の部三位の上村ちえり選手、全国小学生相撲本曾大会五年の部二位の後藤凜華選手、同大会四年の部ベスト八に松本莉音選手、同大会三年の部優勝の武井銀士選手、同大会二年の部二位の篠原来瞳選手、同大会中学生の部三位の上村あおい選手、東海高校総体相撲競技中量級優勝の赤池虎太郎選手、同大会重量級優勝の村松峻志選手に優秀選手賞を授与しました。

新年を祝う会には、加盟団体の代表、地元選出国会議員や県議会議員、市議会議長等来賓など、一六〇名が出席し、新しい年を祝い本年の活躍を誓いました。



※社員とは「社団(人の集まり)の構成員」で総会において
表決権をもつ会員のこと。

競技団体名	会長名	社員名	※社員とは「社団（人の集まり）の構成員」で総会において 表決権をもつ会員のこと。
陸上競技協会	渡辺 徳一	森 潔	富士宮市貴船町6番25号
野球連盟	須藤 美視	福原 克二	富士宮市上井出269-1
卓球連盟	稲葉 晃	石川 猶章	富士宮市万野原新田4020-26
ソフトテニス協会	佐野 正和	石川 英樹	富士宮市東町29番5号
ソフトボール協会	佐野 肇宣	藤田 次夫	富士宮市山宮1377番地の1
剣道連盟	海野 隆	岡田 道弘	富士宮市人穴791-1
弓道連盟	土屋 勝昭	土屋 勝昭	富士宮市小泉1645-52
柔道会	小林 賢治	赤池 秀貴	富士宮市山宮973-8
山岳会	工藤 誠志	田中 将裕	富士宮市富士宮市宮原585-5
バスケットボール協会	松浦 眞	三浦 敏	富士宮市星山237-13
バレーボール連盟	伏見 由治	加納 理宏	富士宮市下柚野338番地
スキー協会	大鉢 義典	佐野 知英	富士宮市西小泉町60番地の2
相撲連盟	堀 勇	遠藤 公康	富士宮市万野原新田4019番地の22
スケート協会	芦沢 勝昭	竹川 忠	富士宮市東町9番4号
バドミントン協会	川原 崎仁	佐野 明彦	富士市天間1706番地の3
サッカー協会	加藤 康雄	黒川 和洋	富士宮市万野原新田3333番地
少林寺拳法協会	吉川 雄二	石川 雅洋	富士宮市北山2436番地
空手道連盟	池田 則正	望月 家策	富士宮市豊町6番3号
体操協会	鈴木 敏彦	水越 文男	富士宮市大岩1707番地の24
水泳協会	渡井 芳樹	稲葉 豊	富士宮市中大里1623-1
ゲートボール協会	石川 富一	石川 常子	富士宮市下稻子395番地の2
武術太極拳連盟	菊池 昭碩	青木 浩康	富士宮市上井出2101-1
テニス協会	赤堀 秀則	中村 和文	富士宮市富士見ヶ丘1629番地
家庭婦人バレーボール連盟	森 好美	後藤 桂子	富士宮市中大里1162番地の8
ゴルフ連盟	篠原 松太郎	秋山 忠	富士宮市根原380番地
ハンドボール協会	細澤 寛	佐藤 和幸	富士宮市東阿幸地98番地
グラウンド・ゴルフ協会	渡邊 満雄	安藤 好夫	富士宮市中大里1187番地の4
インディアカ協会	四本 康久	後藤 守	富士宮市小泉2161番地
芝川スポーツチャンバラ協会	四條 行明	風岡 達也	富士宮市内房4591番地
芝川リバースポーツ協会	四條 行明	四條 行明	富士宮市羽翎155番地の1
合気道連盟	西原 真好	内田 誠三	富士宮市外神1668-1

二万円等に充当させていただきます。
ただきました。

平成二十八年、度事業も皆様の多大なるご理解とご協力により行うことができました。今後とも、スポーツの普及、振興と競技力の向上及び加盟団体の更なる発展のため努力してまいりますので、ご協力賜りますようお願いいたします。

総合開会式

5/14

市民体育館

ソフトテニス

団体(区) 6/19

個人(中学生) 8/7・9/10

ソフトボール

中学生女子 6/11・12

県ソフトボール場ほか

高校生女子 11/20

未定

一般女子 未定

県ソフトボール場

一般(区) 10/9・16/30

県ソフトボール場ほか

バスケットボール

小学生 9/24

中学生 6/11・18

市民体育館

高校生・一般 9/25・10/1

家庭婦人バレーボール

市内小中学校体育館

バレーボール

小学生 8/9

中学生 平成29年2/25

市民体育館

社会人 5/1

市民体育館

卓球

個人 5/8

市民体育館

団体(区) 6/26

市民体育館

野球

学童 5/22・29/6/19

潤井川河川敷スポーツ広場ほか

中学生 9/3・10/17

明星山球場ほか

高松市(硬式) 10/30・11/3

富士宮北高校ほか

一般(区)

総合射撃

上井出スポーツ広場ほか

一般 10/30

水泳

小学生・中学生・高校生・

一般(100フリーリレーのみ区)

9/11

市民プール

相撲

小学生 未定

富士宮北高校 相撲場

バドミントン

団体(区) 11/27

市民体育館

体操

小学生・中学生 12/11

市民体育館

弓道

成年 8/28

少年 9/3

市民体育館

二道場

剣道

小学生・中学生・高校生・

一般 9/18

市民体育館

柔道

小学生・中学生・高校生・

一般(高校生以上) 11/13

市民体育館

武道場

空手道

幼年・小学生・中学生

一般(高校生以上) 11/27

大富士中体育館

市民駅伝

団体(区) 10/16

山宮スポーツ公園周辺

陸上競技

小学生・中学生・高校生

一般(4×100リレーのみ区)

9/18

富士総合運動公園陸上競技場

サッカー

少年 7/16・9/19

父親・母親 5/29/6/12

中学生 6/4・5/12

高校生 8/6・7/12

社会人 5/22・29/6/12

フットサル 平成29年2/12

外神スポーツ広場

山宮スポーツ公園

市内小中学校

市内高校ほか

ゲートボール

市内高校ほか

スケート

小学生・中学生・高校生

一般 平成29年3/19

小瀬アイスパリーナ

ペーパーホッケー

小学生・中学生・一般(高校生以上) 10/16

市立北山小学校体育館

ゴルフ

一般(区)・個人

9/5・6・7

小田急西富士ゴルフ倶楽部

インディアアカ

女子・男子・混合

平成29年1/22

市民体育館

女子(区)・混合(区)

平成29年2/26

市民体育館

グラウンド・ゴルフ

団体(区)・個人 7/20

外神スポーツ広場

ハンドボール

小学生・中学生・高校生

一般 9/22

市民体育館

登山

一般 7/31

伊吹山・伊吹山山頂散策

硬式テニス

一般 11/6

市民テニスコート

合気道

一般 6/19

市民体育館

武道場

※申し込み方法等は、大会実施要項(5月14日発行予定)を要覧ください。要項は、スポーツ振興課(市役所)及び市民体育館にあります。

※(区)は区対抗種目であることとを表します。

※問い合わせ先
教育委員会スポーツ振興課
TEL 222・1190
FAX 222・1242

各連盟・協会からの報告

陸上競技協会

第16回 静岡県市町対抗駅伝競走大会 市の部11位

第16回静岡岡県市町対抗駅伝競走大会が、平成27年12月5日(土) 39チームの参加で開催されました。
富士宮市は昨年、一昨年の市の部7位を上回ることを目標として、監督・コーチ・選手が一丸となって取り組んできました。しかし、浜松勢3チーム他上位チー

ムの壁は厚く、市の部11位(2時間18分19秒)という結果でした。

富士宮市は、1区に県高校上位にランキングされている稲垣仁美選手(三島北高2年)を起用し、期待通りの走りでの市の部3位でタスキを渡し、いい流れをつくりました。しかし、中盤では、順位の上げ下げを繰り返す中で徐々に順位を下げ、アンカーの富士宮市のエースであるセルナルド祐



慈選手(創価大学3年)に、大きな期待がかかりました。セルナルド祐慈選手は、創価大学を代表する選手であり、昨年以上の好記録で区間3位(区間記録)で走り、結果、富士宮市は市の部11位でテープを切りました。目標は果たせませんでした。が、選手全員が精一杯走り

切ることができ、来年度への期待と課題が見えました。応援に来ていただいた皆様、の温かなご声援・ご協力ありがとうございました。今年度の静岡岡県市町対抗駅伝大会は、12月3日(土)に開催されます。念願の6位入賞を勝ち取るために、監督、コーチをはじめとして、陸上競技協会スタッフ、全力で支援を行い、選手の内をもちと長く走って欲しいです。今年も市民の皆様、の温かなご声援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

第3回富士山女子駅伝(全日本大学女子選抜駅伝)大会

本年度、12月30日(水)の開催となった富士山女子駅伝(浅間大社スタート)富士総合運動公園陸上競技場)は、立命館大学が3連覇を果たしました。エースの大森選手を故障で欠いた立命館大学でしたが、1区の菅野選手が区間1位でタスキを渡すと、2区・3区・4区と連続区間賞の走り、他の大学を圧倒し、結局、2位以下に3分以上もの大差を付けての優勝でした。同大学のもつ大会記録に2

秒及びみせんでしたが、全日本大学女子駅伝と合わせて2冠を達成しました。層の厚さでは、他の大学を圧倒しているのが分かります。沿道では、多くのボランティアの皆様、市民の皆様のご協力・ご声援をいただき、大きな問題もなく無事に大会を行うことができましたことに感謝いたします。

富士宮市陸上競技協会は、昨年同様、スタート地点を担当し緊張の連続でしたが、無事、その大役を果たすことができました。富士宮市内をもっと長く走って欲しいという要望もあるため、前向きに検討中という朗報もあります。今年の駅伝も12月に実施される予定です。

第36回富士宮市民スポーツ祭

(1) 第44回陸上カーニバル

平成27年9月20日(日)、第44回富士宮市民陸上カーニバルが、富士総合運動公園陸上競技場で開催されました。小学生、中学生、高校生、一般の部に約300名の選手の参加があり盛大に行われました。小学校低学年の児童の参加も多く、陸上競技の楽しさを味わいながら、自己の記録に挑戦しようとする選手の一生懸命な姿が印象的でした。また、長距離においては、市町対抗駅伝の選考会も兼ね実施しています。この大会

は、富士宮市陸上競技協会だけでなく、富士陸上競技協会、富士宮市中体連、高校生の協力も得て運営しています。富士市の陸上競技場で大会を開催するたびに、市民スポーツの盛んな本市にも、全天候型陸上競技場の設置を望む多くの市民の声が上がっています。今年、9月18日(日)の開催となりますので、多くの市民の皆様の参加をお願いいたします。

(2) 第50回記念市民区対抗駅伝競走大会

平成27年10月16日(日)、第51回市民区対抗駅伝競走大会が、山宮スポーツ公園周辺コースで、20チーム(区)の出場を得て開催されました。この大会は、50年前の東京オリンピックを記念して、10月10日の「体育の日」が制定されたことをきっかけに1965年から始まりました。今回は、阿幸地区チームが強豪区を押さえ、見事初優勝を飾りました。準優勝は宮原1区、3位は山宮1区でした。選手集めに苦労し、年々、参加チームが少なくなっている中、多くの区が連続して参加していたに感謝しております。なお、宮原区と木の花区が、第1回から50回連続出場という偉業をなしたため、特別表彰をさせていただきます。

第62回近江八幡駅伝競走大会

平成28年1月17日(日)に、夫婦都市である滋賀県近江八幡市において、第62回近江八幡駅伝大会が開催され、富士宮市から、一般の部に富士宮市役所チーム、中学校の部に大富士中学校男子チーム・女子チームが陸上競技協会の推薦を得て出場しました。(大富士中は、11月の中体連駅伝大会において、男女アベック優勝)富士宮市役所チームは、30チームが出場した一般の部で10位と健闘。大富士中男子は、3区間で区間賞(1区大野泰良選手、2区望月武選手、5区藁間広夢選手)をとり、2位に大差を付け圧勝しました。(富士宮市は中学男子の部7連覇)大富士中女子は、6区の伊藤杏称選手が区間賞をとり、3位に入りました。夫婦都市である近江八幡市と富士宮市の友好親善の輪がこれからも更に広がり深まることを願っています。

野球連盟

富士宮野球連盟の活動及び、平成二十七年、第三十六回市民スポーツ祭の大会結果を報告致します。

恒例の総会を、平成二十八年二月二十七日にクリスタルホールパテオンにて開催され、平成二十八年年度の事業計画及び、予算が承認されました。

総会では、今回役員改選が行われ、会長・須藤美規、副会長・渡辺一敏、理事長・清光男、少年部長・渡辺一敏、

広報部長・桑原稔、審判部長・佐野登輝男、事務局長・植松重夫と選出されました。

事業として、第三十六回市民スポーツ祭で、区対抗の部の優勝は、淀師区、準優勝が、富士見ヶ丘区。高校の部の優勝は、富士宮北高、準優勝が、富岳館高。中学の部の優勝は、フジヤマBBC、準優勝が、西富士中。学童の部の優勝は、黒田ブラックボーイズ、準優勝が、富士宮ビクトリー。

ソフトテニス協会

平成二十八年度総会が二月二十日(土)に富士宮市民体育館会議室で、各クラブ事業所理事と協会役員の出席のもと開催され、二十七年事業報告並びに会計報告の承認に続き、二十八年度の事業計画と予算案が承認されました。二十七年各部門においての当協会所属選手の活躍を紹介します。

小学生部門では全日本小学生大会男子個人の部で赤池・鈴木ペア、望月・片岡ペアが全国大会出場、同団体戦男子の部において3位入賞(赤池・鈴木・望月・片岡)、東海小学生選手権男子団体の部において優勝(赤池・鈴木・望月・片岡)、西

連盟では、学童野球から一般、OB野球まで多くの大会を企画しております。

本年度も、多くの市民の皆様の御参加と、御活躍を期待し、富士宮市の野球発展のため、連盟役員が、心一つに努めていきたいと思っております。

今後も、すべての大会が感動のある素晴らしい大会となるようにしていきたいと思っております。皆様の御理解、御協力をよろしくお願い致します。

ア(大富士中)2位、奈良・小林ペア(富士宮三中)優勝、同東海大会において佐野・鍛冶ペア、奈良・小林ペア

共に準優勝し全国大会に出場、県中学校対抗ヨネックスファイナル団体戦男子の部、北山中3位、個人戦女子の部、塩谷・赤池ペア(北山中)2位。

高校生部門では県高等学校総合体育大会にて男子個人の部、稲葉・佐藤ペア(富士宮北)優勝、飯塚・石川ペア(富士宮北)6位、男子団体戦の部、富士宮北高優勝、個人団体共に全国大会

出場、ハイスクールジャパンカップにダブルス男子稲葉・佐藤ペア(富士宮北高)シングル男子稲葉大輝選手(富士宮北高)が出場。一般・シニア部門では東

卓球連盟

平成28年3月開催された理事会において、平成28年度役員改選が行われました。4月1日から稲葉晃新会長が就任しました。(前石川会長には18年という長い期間大変ありがとうございました。)

また、名称を「富士宮地区卓球連盟」から「富士宮卓球連盟」に変更しました。

さて、当連盟では、4月の富士地区中学校対抗卓球大会から3月の富士宮卓球選手権大会まで10大会を開催しており、毎年幅広い年齢

の市民の皆様に参加をいただいております。しかし、年々一般の特に女性の参加が減少してきているのが課題となっております。教育

委員会主催の卓球教室などには多くの女性の皆様が参加していただいております。卓球を生涯スポーツとしていただいている方が見受けられますが、大会参加にはまだつながっておりません。

今後も、大会参加者を増やすよう努力していきたいと思っております。次に、以前にも紹介さ

海シニア男子四十五の部で宇佐美選手(ベルウッド)優勝、東日本選手権シニア男子六十の部で小澤選手(大成ク)3位、シニア男子七十の部で平野選手(大成ク)3位、国体東海ブロック予選に砂原選手(富士宮ク)伊藤選手(富士宮ク)が県代表として出場、全日本レディース決勝大会に遠藤選手(大成ク)が出場、日本マスターズに佐野選手(WTC)が出場、ねりんピック静岡県代表として松本選手(大成ク)石田選手(市役所ク)長谷川選手(富士宮ク)板垣選手(富士宮ク)が出場と多くの選手が活躍した年でした。

富士宮市体育協会より全日本小学生ソフトテニス選手権(団体)3位に入賞した、赤池聖也選手・鈴木洗我選手・望月幸也選手・片岡優希選手(富士宮スポーツ少年団)が優秀選手表彰を受け、十四名もの選手が奨励賞表彰を貰うことができました。

市民コートに於いての要望を何点が提示させていたいただきました。コート周辺の土がコート内に入ってしまう為、土の部分のアスファルトに、コートのオムニ化

により雨が降っても試合が出来る為、審判のジャッジペーパーが濡れてしまい書けなくなる、夏場直射日光

せていただきましたが、2020年の東京パラリンピック(車椅子卓球)出場を目指している土井健太郎君について紹介させていただきます。

昨年11月開催された第7回国際クラス別パラ選手権大会においてシングルスで準優勝(前年大会は三位)し本年度も国際大会への参加資格を獲得しました。世界ランキングを上昇させるポイント獲得のため本年度も海外大会へ出場し頑張っております。市民の皆様の応援よろしくお願いいたします。

が当たり熱中症に、トイレの光取りが狭い場所にある為人が乗ってしまい、割れて落ちる恐れが、等々について対策を打って頂きました。土からアスファルトに整備頂き、審判台には屋根を付けて頂き、狭い場所の自動販売機を移動して広くして頂きました。ありがとうございます。今後も使いやすい安全な施設になるように要望していきます。

今後も選手育成をはじめソフトテニスの町富士宮の発展を目指していきますので、関係者のご支援、ご協力を頂けます様宜しくお願い申し上げます。

ソフトボール協会

いまスポーツ界は2020年東京オリンピックの話がニュースになっておりませんが、協会はソフトボール・野球が大会種目に追加されることを願う運動しています。

東京大会の開催の決定は、日本国内に大きな広がりをもたせ、スポーツ界を超えてさまざまな分野で新たな活動や取り組みをもたらしています。

現在ニュースはエンブレムの発表、聖火台の位置はどこに? など流れてきていますが、市の活性化のため

参加チームの練習会場に各団体が運動を興し誘致してはどうですか?

先日、富士宮市より第5次総合計画が発表されましたが、私達の関係しています教育文化部門の「市民ひとりスポーツ」の推進、「施設の整備・活用」が施策として提案されました。各団体が、国際大会、全国大会を誘致できる力を携えて、地域の活性化のため協力することが求められているように思います。

3月末で終了しました第34回全国高等学校男子選抜

弓道連盟

弓道は、スポーツとしての競技の部分と、精神修養と品格形成の修練とを併せ持つ奥行き深い日本古来の武道であります。

弓道はなじみの少ないスポーツですが、始めるに当たり次の二通りの方法があります。

一、富士宮市教育委員会主催の弓道教室に入校して、弓道の基本と楽しさを学ぶ方法。

年二回
前期 五月十日より二十回
後期 九月二日より二十回
弓道教室に気軽に参加さ

大会も10回の区切りとなる大会で静岡県代表・飛龍高校が決勝まで進み惜敗はしたが頑張りは今後の活動に弾みをつけたと思います。

また星陵高校は毎回素晴らしい活躍を市民の皆様に見せ、市民の激励を受け練習の成果を発表する場を盛り上げました。大会を主管開催した協会としては10回は長く大変でもありましたが、地域活性化のために良い活動をしたと自負しております。協会は昨年度まで15年連続で16回の全国大会を県ソフトボール場をメイン会場に主管開催をしてきましたが、市民の関心は薄く広報活動の希薄を身を持って感じていました。

これからも地域活性化のために種々の大会開催の要望がありますので許されるものなら皆様の協力を頂いて開催して地域、富士宮市のためにも頑張っていきたいと思っています。そのためには、話題に上がっています活動の場の整備を早急にお願ひしていきます。

これからも各協会、連盟が地域の活性化のためスポーツの素晴らしさを伝え、考えて活動を活発にしよう!我々に地域の活性化と市民の健康が掛かっていると思います頑張りましょう!!

会費 六〇〇〇円/年

練習日 毎日午前指導有

連絡先 午後相互研鑽
渡辺武彦

③富士宮市体育館支部
会費 一〇〇〇円/年

練習日 第二水曜日
(指導有り)

別途体育館使用料
一〇〇〇円/日必要

連絡先 前田研治
二七—四七八五

三、弓道連盟の今年度の事業予定

四月三日 四段以下前期講習会

五月一〇日より(火・金)前期弓道教室

五月一〇日より(火・金)前期弓道教室

剣道連盟

昨年は、女性陣の活躍が目立った年であり、4月には15回女性年代別選手権で岸本典子選手が3位になり、5月には7段全国審査会で河野由香里選手が県下でも数少ない女性7段に見事合格し7月の静岡県女性剣道選手権大会では風岡里奈選手が3位になりました。

また、10月の県下3地区剣道大会には、東部代表として清浩樹、岸本典子、石川恵理香、風岡里奈の4選手が参加し、大会を盛り上げました。

男性陣では、11月に足立和俊6段が錬士の称号を取得し、本年1月には佐野征宏先生が、富士宮市体育協会より功労者表彰を頂きました。



功労者表彰
佐野征宏先生

当連盟としては、一般の活躍が益々盛大になるように、稽古は毎週、火曜日、木曜日、土曜日に富士宮市民体育館武道場で自己の修練と剣道普及を目指し、少年・少女の剣士育成のために毎週、火曜日と土曜日は午後6時30分より8時まで指導にあたっております。

他にも市内には剣道連盟傘下の少年・少女を対象に剣道指導を行っている団体が、芝川、上井出、剣湧会、文武館と4団体あり、子供の大会も各団体主催で年間定期的に3つの大会があります。

*剣道連盟の本年度の主な事業計画
4月29日(祝) 剣道指導者講習会、第5回富士宮選手権大会
5月5日(祝) 小中学生を対象に初心者講習会(木刀による基本法)
5月22日(日) 剣湧会剣道大会(源流館)
6月5日(日) 剣道級位審査会
7月10日(日) 中体連剣道大会(大富士中学)
8月11日(日) 富士宮剣道連盟夏季講習会
9月19日(日) 第62回富士宮市民剣道大会
10月9日(日) 剣道級位審査会
10月16日(日) 芝川少年剣道大会
11月3日(祝) 富士宮少年剣道大会
11月27日(日) 中学新人剣道大会
12月2日(月) 芝川剣道スポーツ少年団初稽古会
1月3日(火) 富士宮剣道連盟初稽古会
2月10日(日) 剣道級位審査会
3月10日(日) 少年部送別剣道大会
3月12日(金) 富士宮剣道連盟役員会
3月26日(日) 富士宮剣道連盟総会

柔道会

富士宮柔道会の活動状況をお知らせいたします。本会は柔道の発展普及、市民青少年の体力向上、精神修養を目的として活動しています。特に柔道修行の重大项目である礼に始まり礼に終わる毎日の稽古を通じて、逞しい体力と精神力、礼儀を身に付け社会に送り出すことを目指して参りたいと思います。

稽古は柔道有段者ボランティア指導員を中心に毎週水、金、日曜の三回夜七時～九時二十分まで練習しています。

会員は年々増加し幼児から小学生が四十六人、中学

生から高校一般が六十七人、指導員二十人の総勢一三三人を超える会員がおります。指導員も会員の安全性向上の為、全柔連公認の指導者講習審判講習を受け安全の確保に努めています。

年間行事として四月、全国少年柔道大会予選、五月、全国少年体重別予選、富士市柔道選手権、七月、地引綱体験、十月、柔道フェスティバル、十一月、市民スポーツ祭、一月鏡開き式、二月、少年柔道選手権団体等が予定されています。町道場は心よりどころ

でなければなりません、勝敗にはこだわらず練習の課程に重点をおき、入門者それぞれの目標に合わせ指導する伝統を継承して活動していきたいと思えます。柔道を生涯スポーツとして長く楽しみ老いても若きもみんな柔道を楽しめる場として富士宮柔道会（みやじゅう）をさらに発展できるように活動していきたいと思えます。



空手道連盟

空手道連盟には会派別に九団体が所属し空手道に意を共にし交流を深め今日に至っています。

来たる五月二十八日(土)総会を開き平成二十七年年度の事業報告と決算報告がされます。席上平成二十八年年度の事業計画案も決定します。

会派ごとの県大会を始め全国大会に出場できるよう全体での強化練習を行いたいと思えます。

第三十七回市民スポーツ祭空手道大会が十一月二十七日(日)に開催されることも決定しました。

同大会がより充実した内

容になるよう審判講習会も行う考えです。空手道を学ぶは努力の精神を養うことを訓の始めとし人格完成に努むることを目標におき指導にあたっています。いきたいと考えています。



山岳会

富士山の麓の富士宮で、登山の愛好家で結成された山岳団体です。今年、結成されて六十周年の記念の年です。この間、戦後の登山ブームで多くの若者が参集し、富士山での新雪合宿などで技術レベルと経験を積み、身延線に乗って北アルプス、南アルプス、中央アルプス、さらに北海道、九州、四国の山への足を伸ばしてきました。登山界の流れは、岩壁ルート

の初登、甲斐駒ヶ岳左リント初登、伊タリアのピッツバディレ北壁日本人初登、日本人初のプロモリ遠征と歩んできました。時は過ぎその流れは、「日本百名山」登りのブームを生み、その最大の担い手が中高年登山者。その次の「山ガール」ブーム。しかし、

この間登山も個人主義、ガイド登山、バック登山の時代に入り、登山愛好家団体の組織は数を減らしてきました。日本体育協会の傘下に入る静岡県山岳連盟の富士地区に所属する山岳団体も、10を数えていたものが、1団体のみに。そんな中で、私たちは、自分らの登山を大切にすると同時に、富士宮地区の山岳団体として、市民スポーツ祭登山大会、富士山の夏山シーズン中の登山者指導のパトロール、天子山塊稜線の登山道整備など地域に根ざした活動を

実施続けています。

本年の創立六十周年記念の年に向け、この3年間取り組んできた登山は、「日本百高峰」(国土地理院選定)や「富士山のバリエーションルート、全登山道、すす野散策道踏破」などを実践中です。これを実践しながら、新しい山の感動を味わいつつ、最近の気象変化の過激化に対し、安全登山のために気象の勉強を重視しています。また、登山技術・マナーの向上に、最新の登山講習会や研修会に参加し、そこで得た知識を

例会で報告し普及するようになっています。これも、登山愛好家団体の役目の一つだと思っています。昨年の「体協だより」で、「登山は、歩くことができれば、誰でもできるスポーツです。ただ心がけなければいけないことは、そのフィールドが自然であり、自然への謙虚さを忘れずに山に向かうことと受け止めて活動しています」と書きました。その心変わりはありません。会の構成員は、多くの山岳団体に見られる高齢化の波に飲み込まれているのも現

実です。しかし、コツコツと登山を続け学ぶことに心掛けていけば、50代、60代の会員でも、夏の3～4日の縦走、雪山登山、多くのクライマーが訪れる岩壁登山を楽しむことができます。スポーツとしての登山を通じて、若者との交流、健康維持、心の爽快感を味わって若々しく生活していることを実感しています。一緒に市スポーツ祭登山(伊吹山)、各地の山々に行きませんか。

バスケットボール協会

第三十六回市民スポーツ祭バスケットボール大会は、本年も、小学校の部、中学校の部、一般高校の部の三部門で行われました。

中学校大会男子の部は、八チーム参加し、優勝は、富士根南中、準優勝富士宮四中、第三位は、富士宮一中と富士根北中でした。女子の部は、十一チーム参加し、優勝は、富士宮一中、準優勝富士宮四中、第三位は、大富士中と富士宮三中でした。ミニバス大会男子の部は、七チーム参加し、優勝は、富士見、準優勝貴船、第三位は富士と大富士でした。女子の部は、九チーム参加し、優勝は、富士根北、準優勝富丘、第三位は、貴船と黒田でした。一般高校の部大会は、男子の部には、二十八チーム参加し、優勝は、青田狗、準優勝スポーツSC、第三位は、スポーツAとMCSでした。女子の部は、七チーム参加し、優勝は、ベガ、準優勝は、ヘッジホック、第三位は、富士宮東高でした。第九回しずおかスポーツフェスティバル東部大会は、十一月に伊東市民体育センターで行われ、富士宮代表として出場した、ベガチームは見事優勝しました。男子の部には出場しませんでした。

富士宮バスケットボール協会創立五十周年記念第十六回会長杯争奪大会は、二月二十八日と三月六日に行われ、男子二十八チーム、女子十チームが参加し、二日間にわたり熱戦を展開しました。男子一部優勝は、青田狗、準優勝テキーラ、第三位は、MCSとスポーツCでした。二部は、優勝宮東ウオリアーズ、準優勝メントス、第三位は、ドイファームとシカゴズでした。三部は、優勝スコップA、準優勝ステルス、第三位は、ステイゴールドとファミリーズでした。女子の部優勝は、ベガ、準優勝FGM、第三位は、富士宮東高とハイファイブでした。昭和三十三年に発足した当会も本年で五十一年目を迎え、市民スポーツ祭三部門の大会をはじめ、今年も多く大会が行われます。児童数の減少化のなかでミニバス育成会役員の方々の努力によりミニバス大会も多く組まれスポーツ少年団各チームの子ども達も、バスケットボールを楽しんでやっています。中学校各校においても生徒数の減少のなかで、部員確保、部存続に各校先生方が大変努力してくれております。当地域におけるミニバスの好成績

が、ここ数年における地域の中学校バスケットの好成績に繋がってきております。一般の部大会も、男子チーム女子チームとも毎年参加チームが増え、大会運営に苦慮しつつも大変嬉しい傾向がつづいています。若い人達のチームが増えるなかで、四十代すぎの方々が、若者に負けたくないくらいの体力とファイトで若者と一緒に試合を楽しんでおり、体力的に大変厳しいスポーツのバスケットを楽しくやっています。今年もバスケットボールを通して、明るい社会づくりに努めていきたいと思っています。選手への激励に会場に足を運んで下され応援をお願いします。



バレーボール連盟

昨年創立六十五周年を迎え、第一集を取り込んだ連盟誌を会長中心にまとめました。

改めてあゆみを振り返ると、バレーボール連盟での私自身の指導者としての歴史を振り返ることが多く、記録収集での編集に関わった皆さんのご苦労にありがたい気持ちでいっぱいになりました。

さて、現在のバレーボール連盟ですが、他地区や他競技ではあまりやっていない、各部の交流をより充実

させる活動を重点としています。一つ目は小・中交流に社会人チームが参加したり、小・中学生対象のバレーボール教室の指導者補助に市内の高校生が協力するといったより具体的な企画に広がっています。このような取り組みから、バレーの競技人口増加、さらには、バレーボールに関わる指導者育成に結びつけたいと考えています。

さらに、加盟チーム数を含めて、少年団では白糸や柚野地区に、中学校では昨年

スキー協会

富士宮スキー協会では、生涯スポーツとしてのスキーの普及活動と共に基礎技術の向上、アルペン競技の普及と競技力向上を目指して毎年市民スポーツ祭スキー大会（大回転競技）、ちびっ子スキー教室・大人のスキー教室等を開催しています。

市民スポーツ祭スキー大会には、国体出場選手を含め幅広い世代26名の方に参加していただき、大回転競技で記録と栄冠を競いました。当日は、強風と雨に見舞われる悪コンディション

となりましたが、選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、好タイムを記録しました。

また、同大会の中で、昨年に続き、順位を競わない幼児クラスを設け、大人のサポートを受けながらのレースも実施しました。この幼児達の中から将来のスキー協会を背負って立つような人材が育ってくれる事を願ってやみません。

スキー教室には、ちびっ子スキー教室22名、大人のスキー教室に2名の方に参加していただきました。

の富士根北中学校に続いて、富士宮第二中学校が今年から復活しました。同じ大きな夢の実現のために、時を守り、場を清め、礼節をわきまえることのできるバレーボールマンにできるような今年も各部競技力向上に努めます。



ちびっ子スキー教室では、全く初めての子供から毎年参加してくれる子供までレベルも様々ですが、一人一人にあわせてきめ細かい指導を心掛けています。

今回も、天候にも恵まれ、初心者から上級者まで各レベルで技術の向上を図ることができました。

これからも様々なイベントや行事を取り揃え、一人でも多くの皆様と大切な時間を共有できればと考えています。

協会の活動内容等につきましては、当協会ホームページに掲載させていただきますので、ご覧ください。

相撲連盟

富士宮市相撲連盟は、昨年11月に50周年記念式典が開催する事ができ、ご参加いただいた皆様には感謝すると共に、今後も相撲競技発展・普及を図り、青少年の健全育成と人格陶冶並びに国民体位の向上を図ることを目的に積極的に活動してまいります。

大会結果についてお知らせ致します。まずは、幼児・小中学生の部です。

○第13回小中学生相撲木曾福島相撲大会

2年生…篠原来瞳(袖野小) 2位、3年生…武井銀士(富丘小) 優勝、4年生…松本莉音(貴船小) ベスト8 5年生女子…後藤凜華(北山小) 2位、同上村ちえり(富士根南小) 3位、中学生女子…上村あおい(富士

士根南中) 3位

○第36回 静岡県子供すもう大会

幼児(年少・年中)…2位

加藤朱音(西富士宮幼稚園)、1年生…準優勝 吉野俊太朗(山宮小)、3年生…優勝

史(上野小)、3年生…優勝 武井銀士(富丘小) 3位

勝間田翼(東小)

○第36回 富士宮市民スポーツ祭相撲大会兼第22回わんぱく相撲富士宮大会

各学年優勝者1年…吉野俊太朗(山宮) 2年…篠原来瞳(袖野) 3年…武井銀士(富丘) 4年…中津留愛(富士根南) 5年…上村ちえり(富士根南) 6年…篠原希巳(袖野)

○第1回 全国女子相撲ひめじ大会(兵庫県)

5年生の部…上村ちえり(富士根南小) 3位、武井 苺(富丘小) 4位、中学生の部…上村あおい(富士根南中) 4位

○第6回 全日本女子相撲郡上大会(岐阜県)

5年生50kg未満…上村ちえり(富士根南小) 3位、中学生超軽量級…上村あおい(富士根南中) 3位

○第38回静岡県少年相撲選手権

年長の部 2位…後藤凜華(北山保育園) 1年生の部 2位…吉野俊太朗(山宮小) 3年生の部 優勝…武井銀

士(富丘小) 3位 渡邊泰樹(大宮小)

○第9回しずおかスポーツフェスティバル

幼児年少・年中の部…第4位 加藤朱音、1年生の部…2位 吉野俊太朗、4位

二上堯史、2年生の部…4位 篠原来瞳、3年生の部…4位 二上大史、4年生の部…4位 松本莉音、5年生の部女子 2位 後藤凜華

○第20回全日本女子相撲選手権大会、第12回中学生女子・第18回小学生女子相撲大会(愛媛県)

5年生の部 50kg未満 上村ちえり3位、同 後藤凜華 3位、中学生超軽量 上村あおい 3位

○第4回富士宮市幼児すもう大会

優勝 佐野空良(大中里保育園)、準優勝 後藤凜華(北山保育園) 3位 赤池 然(山宮保育園)、3位 宮島大河(上井出保育園)

○第35回会長杯中学選手権成績…団体…3位 上野中 ベスト4 富士根南中

○県中学校総体相撲の部成績…団体…3位 一中 次に、一般の部

○第65回東海相撲選手権・第18回東海少年相撲選手権(郡上市相撲場)

出場者…青年団体の出場者…望月健太、成績…青年団体の優勝、個人…望月健太 優勝、※全国青年大会出場(望月健太)

幼児では加藤朱音(西富

士宮幼稚園)県内大会で2位・4位、後藤凜華(北山保育園)も2位に輝いています。

小学生の部では、武井銀士(富丘小3)が市大会・各県大会で優勝し市内大会と県大会では小学1年生から負け知らずで県内最強の選手、木曾大会では優勝に輝いておられます。また、今年度は女子の活躍が目立っており、上村ちえり(富士根南小5) 武井 苺(富丘小5) 後藤凜華(北山小5) 上村あおい(富士根南中2) が各女子全国大会で上位入賞を果たしております。

一般の部では、望月健太(テルモ株)選手が東海大会の団体戦で優勝・望月健太選手は個人戦でも優勝し2連覇を果たしました。

幼児から一般まで幅広く活躍した一年でした。

連盟としても豊富な指導者の下、毎週月曜日・木曜日に富士宮北高相撲場において、『相撲教室』を主催しており、現在、近隣の幼児・小・中学生50名が参加するなか、日夜、相撲道を通じ青少年の健全育成に励んでおります。

本年度も、多くの大会に参加予定しており選手の活躍が見込まれます。

今後、さらなる向上を目指し、相撲連盟・関係機関が一丸となって相撲道の発展に努力・精進していく所存です。

バドミントン協会

富士宮市バドミントン協会は協会主催の大会六回と市民スポーツ教室三十回、ジュニア強化小学生・中学生を実施しています。スポーツ教室は毎回昼と夜に二〇〇名以上が参加しています。

平成二十七年度は第八回全国社会人クラブバドミントン大会の三五歳女子単の部で橋口知美(NSYFujii)が二位になりました。

また五五歳男子複の部で佐野明彦(SWAC)が優勝しました。

京都府長岡京市で行われた第三十一回若葉カップ全国小学生バドミントン大会の男子団体において富士山バドミントンの佐野寛斗・勝又翔哉・井出祐次郎・上原大河・野村優輝・渡辺空・遠藤龍が予選リーグで二位になりました。

熊本県八代市で行われた第十六回全国小学生ABC大会に富士山バドミントンの佐野寛斗・勝又翔哉・勝又悠翔が出場しました。

北海道釧路市で行われた第四十五回全国中学校バドミントン大会の男子複に富士宮第四中学校の土井大和・竹田侑司が出場しました。

京都府長岡京市で行われた第六十六回全国高等学校バドミントン選手権大会の男子団体・女子団体に星陵高校が出場しました。同じ

く男子複の部に仁藤匡裕・米山莉句(星陵高校)が出場しました。同じく女子複の部に岩田美咲・高橋李歌(星陵高校)・山田圭奈・小野田葉都(星陵高校)が出場しました。

また男子単の部に米山莉句・松田蒼太(星陵高校)が出場しました。また女子単の部に山田圭奈が出場しました。

埼玉県久喜市で行われた第三十四回全国ジュニアバドミントン選手権大会の男子複ジュニアの部に松田蒼太・植松敬士(星陵高校)が出場しました。また男子単ジュニアの部に松田蒼太・植松敬士(星陵高校)が出場しました。女子複ジュニアの部に岩田美咲・高橋李歌(星陵高校)が出場しました。また女子単ジュニアの部に岩田美咲が出場しました。男子単ジュニア新人の部に土井大和(富士宮四中)が出場して三回戦まで進みました。

福井県で行われた第三十二回全日本シニアバドミントン選手権大会の六十歳男子複の部で西島知彦が三位になりました。

今年度は富士宮市民体育館で九月に東海総合選手権大会が行われます。この大会で優勝すると全日本総合選手権大会に出場することになります。ぜひとも静岡県の選手には全国を目指して頑張ってもらいたいと思います。

5月

5月

5月

5月

5月

5月

5月

5月

スケート協会

平成二十七年度、富士宮市スケート協会の中に新たに、インラインスケート部が市体協より承認され部として発足した。第三十七回市スポーツ祭、インライン、ペーパーホッケー大会、第一回が平成二十八年十月十六日(日)場所富士宮市立北山小学校、体育館において行われる。岩手県で行われた第七十一回国民体育大会冬季大会スケート競技会

テニス協会

<http://www.geocities.jp/fujinomiyatec/tea.html>

テニス協会は、今年でいよいよ発足二十五周年を迎えました。これも日頃から大会参加者及び役員の方等テニスに関わる多くの方のご協力と地道な活動の賜と申します。この場を借り、あらためて御礼申し上げます。

さて、毎年多くの行事を実施しながら、盛り上げていますが、今まで同様、一市民一スポーツに根ざし十三もの事業を計画し推進していきます。恒例のテニス教室を始め、平日のテニス教室、ジュニアテニス教室と多くの方の参加のもとでテニス教室を実施しています。大会としては、シングルス選手権大会、ダブルス

でショートトラックスピードスケート少年男子五〇〇mと同一一〇〇〇mで好成績を残した富士宮市出身の塩川弦太選手(山梨学院大学付属高校二年)と和音選手(同校一年)が国体で五〇〇m一〇〇〇mとも兄弟そろって決勝に進出、兄の弦太選手は五〇〇mで準優勝、一〇〇〇mで三位となり表彰台に、弟の和音選手は、一〇〇〇mで四位、五〇〇

選手権大会、ミックス大会、チャレンジカップ、ジュニア選手権大会、チーム対抗戦と各レベル及び年齢別に楽しめる大会を多く計画し実施しています。昨年は、参加者がのべ千三百人を超え、昨年に続き過去最高の参加を得ることができました。その中で、ジュニア大会は県内より、今年も多く

の参加を得て年々充実しています。ジュニアテニス教室も定着し底辺拡大に努めています。また、中学校のクラブ活動に於いては、県中体連へのテニス競技が準加盟となり、道が少しずつ開かれようとしています。市テニス協会としてもバックアップしていきます。

mで七位となり各人賞した。塩川兄弟は小学生時代から富士宮市スケート協会のスケート教室で学び、スピードスケート選手として各種大会に出場、小学校高学年から山梨県甲府市にある山梨学院大のスケートリンクに通い厳しい練習に取り組んできた。今期は国体のほか、都道府県対抗大会少年男子一〇〇〇mと一五〇〇mで弦太選手が準優勝、和音選手が五位入賞した。又塩川兄弟の妹、塩川結菜(長女)も兄弟と共にスケ

東京オリンピックの正式競技でもあるテニスを始めたいけどなかなかそういう場がなく探している方、自分のペースでテニスを始めたい方、是非この機会にテニスを始めましょう。テニス協会では、これからこの富士山を郷土として多



ートリンクに通いショートトラック選手として各種大会に出場している。今季の大会での活躍、成績は、平成二十七年九月五日、山梨県ショートトラック選手権、五〇〇m、一〇〇〇m各一位、九月二十七日、岡谷チャレンジカップ競技会、五〇〇m、一〇〇〇m各七位、十月十日、全関東選手権大会、五〇〇m、一位、一〇〇〇m五位、十一月十四日、十五日、全日本ノービスBクラス、五〇〇m、十位、一〇〇〇m、七位、一五〇〇m、七位、総合結果、第八位入賞、平成二十八年二月二十七日相模原フ

くの選手が活躍できるよう応援していきます。最後に、行事の案内及び結果等の情報発信にはHP及びフェイスブックも利用し充実してきました。こちらも是非ご覧ください。



レンドシップ競技会、五〇〇m、一〇〇〇m、各五位。第九回静岡県スケート大会スピードスケート競技会は、平成二十七年十二月二十九日、富士急ハイランドセイコーパールスケートリンクにおいて開催された。富士宮市から、五名の選手が出場、今回も全員上位入賞、その中で成年D男子の部で鈴木英知選手(西尾組)が三〇〇mと五〇〇m、第一位と共に、二種目大会新記録を出した。小学生高学年女子の部出場の塩川結菜選手(市立貴船小五年生)一五〇〇m第一位、五〇〇m、二位ながら大会新記録を樹

やがて来る2度目の「東京オリンピック」、私は15の年でした。

千駄ヶ谷体育館で初めて見た「器械体操競技」それは、圧巻でした。鉄棒の遠藤、吊り輪の早田、跳馬の山下、その後、遠藤先生、早田先生には日大体操部で指導を賜り、山下先生は富士宮各地の中学にて「山下」跳びを披露して頂き、日本中の若者は「器械体操」に夢中となる世相となりました。

あれから50年、今や日本は「後期高齢者社会」、少子高齢化社会」に突入、指導者も、学びを希望する生徒

立した。又塩川兄弟の父親(ケイズダイナー)成年男子Dの部出場、五〇〇m第二位、一五〇〇m、第一位、大会新記録を樹立。平成二十七年スケート教室には、十一月より開催三月中旬まで、受講生三才児から四十代の母親まで合計四十八名の受講生が、初めての方も四・五回の氷上練習で氷になれて、氷上歩行から滑力滑走が出来るようになりま

の数も激減、既に大会を開催する組織、人材も無く、また危険スポーツのレッテルを張られた器械体操は見る影もありません。

その様な中、世代交流体操教室は、今年で26年目を迎え、その人気度は増すばかりで、多くの家族で賑わっております。学校では出来ないトランポリンは最大の人気種目、また、基本であるマット運動も注目度が高い種目であり、指導員も体力の続く限り、子供達に「空を飛ぶ」楽しさを育みたく、日々努力しております。

体操協会

水泳協会

富士宮水泳協会は、年間を通して水泳競技人口の増加と水泳の普及を目指して活動しています。そのため、富士宮地区はもとより県内で開かれる水泳大会に役員を派遣したり、市民プールを利用しての様々な水泳教室を行ったりしています。特に、夜間行われる初心者水泳教室には、老若男女を問わず泳げるようになりたい、水泳を通して健康を維持したいという思いの方が集まっています。この水泳教室をきっかけにしてさらに泳力を伸ばしたいという方もいらつしやいます。

また、年間の最大イベントとして、「市民スポーツ祭兼室内選手権の水泳大会」があります。この大会は毎年9月の第1日曜日に市民プールを会場として行われています。小学校低学年から一般(年代別・高齢者あり)まで様々な年代の方が参加されます。皆さんも一つの目標として参加してみませんか。なお、区対抗リレー(25m×4)もありです。近年、参加チームが減っていますので、各区で4名集めてぜひご参加ください。

富士宮市ゴルフ連盟

富士宮市ゴルフ連盟の事業として、富士宮市民スポーツ祭・区対抗ゴルフ大会や富士宮市民ゴルフ大会の企画及び運営を行っており、区対抗ゴルフ大会は、昨年も多くの参加を頂き、二日間で四百七十名を超える市民参加の大会となり、参加区も五十七区を数え市民皆様の大会として定着してまいりました。市民ゴルフ大会も老若男女を問わず多くの市民が日頃の腕前を競う個人戦として実施しています。

また、今年も五月に第百一回を迎える静岡県都市対抗ゴルフ選手権(主催静岡県ゴルフ連盟)が二十五市町村より約百五十名の選手が参加して開催され、当連盟からも六名の選手が参加いたします。今年も代表選手が日頃の練習の成果を発揮できるよう協会一丸となつて応援しております。今後はジュニアゴルフやアマチュアゴルフの育成を含め、アマチュアゴルフの底辺を広げるために普及活動に尽力いたします。

武術太極拳連盟

「太極拳」というと(お年寄りの健康体操)というイメージを持たれる方も多いようですが実は「長い歴史と伝統ある武術」です。年齢、性別に関係なく、本人の体力に応じ若い人は少しでも腰を低くして行い、高齢者は無理しないで行い、又男性は力強く女性はしなやかに、自然にその人の体力や柔軟性が太極拳に出てきます。いろいろな健康体操があり身体に良い事は解

りますが、なかなか何年も続きません。頭を使いステップアップしていく事が少ないからでしょう。太極拳はやればやるほど難しく、頭をフルに使ってもやればやるほど奥が深く、一つのことに何年もかかってしまうこともあります。毎回これ以上使いきれない程頭を使い、少しでも腰を下げ努力してもなかなか前に進めません。だから頭脳と身体バランスの良い運動なの

家庭婦人バレーボール連盟

平成二十八年年度総会を、四月一日安藤記念ホールにて、各チームの代表と役員約百名の出席で開催しました。本年度の登録は四十五チーム約七二〇名です。年六回の連盟主催の大会と五十才以上の会員を対象としたシニア親睦会の計七回の大会を予定しています。

日々の忙しなく暮らす中で、時間のやり繰りをしながら練習に励み、日常のストレスを気持ちの良い汗と共に流しながら仲間との絆を深めています。又、年二回の審判研修会は、公認審判員の育成と審判技術向上を目的に開催します。百名以上の会員が参加し、正しいネ

ットの張り方、笛の吹き方を始めとして、主審・副審・線審・記録と終日受講します。毎年八月に開催される市民スポーツ祭では、各地域の代表が熱戦を繰り広げますが、年々参加チームが減少していることが残念です。いかにして参加チームを増やし、バレーボール人口増加に繋げていくかが課題です。昨年は初めて、小中学生とのバレーボール交歓会に参加し、二世帯・三世帯の交流親睦ができました。少しでも地域に根付いた活動ができればと思っています。

『走る・投げる・跳ぶ』を高いレベルで正確に行うことが要求されるスポーツがハンドボールです。ゴールデングレイズといわれる9〜12歳程度の時期にハンドボール競技に触れることは、将来他の競技を選択したと

です。又誰もが持つている生体エネルギーが新たに生まれてくるような感じで今まで味わった事がない体験があるでしょう。ゆっくりした動作でありながら太腿を効果的に使い血液性状が良好に保たれる、自己防衛免疫能力も増え病気になるににくいまたかかって回復が早い体質に改善されるでしょう。太極拳は現代人の生活習慣に無い手足のバランスを保ってゆっくり動かしを伴います、このわずかしさと向き合う中で少しづつ上達の達成感を得られることで生涯スポーツとして一生を通じて楽しむことができ、大きな生きがいにつながっていきます。

二〇一五年度第二十二回武術太極拳演武大会は十一月二十二日(日)午前十時より富士宮市民体育館の武道場で入門太極拳、簡化太極拳二十四式を体育館支部、北部支部、西部支部、中央



支部の四支部で演返し、有志による三十二式太極剣も披露されました。競技大会ではなく演武会形式で行われたので順位はなく練習期間三、五、七、十年の表彰者が発表されました。二〇一五年度の表彰者は次の通りです。三年表彰(該当者なし)五年表彰(西部支部)小林秀明、渡辺彰文(中央支部)篠原衣世、七年表彰(中央支部)佐野明美(北部支部)森千賀子、十年表彰(西部支部)小菅ヨシ子、特別表彰(二十年以上)(西部支部)近藤雅弘

富士宮市ハンドボール協会

『走る・投げる・跳ぶ』を高いレベルで正確に行うことが要求されるスポーツがハンドボールです。ゴールデングレイズといわれる9〜12歳程度の時期にハンドボール競技に触れることは、将来他の競技を選択したと

しても有益であると考えられます。協会では、富士宮東高校の現役ハンドボール部員のサポートを受け、教室を以下のとおり開催しています。ハンドボールの魅力は多くの子供たちに伝え、将来の

スポーツ活動に寄与できればと考えています。
ハンドボール教室
対象 小・中学生

日時 毎週土曜日
午後5時から午後7時まで
場所 富士宮東高校
第2体育館

グラウンド・ゴルフ協会



富士宮市グラウンド・ゴルフ協会は、今年節目の設立10周年を迎えます。振り返るとあっと言う間の10年間でしたが、多くの関係者のご支援ご指導ご援助を賜り紆余曲折はあったものの市民の皆様にも認められる協会になったことに対して衷心より感謝を申し上げます。今年はこの10周年を記念して、9月9日(金) 社会福祉会館・安藤記念館にて記念講演会、11月16日(水) 記念大会を行います。

芝川リバースポーツ協会

自然豊かな富士川でのカヌーの普及と新しいスポーツを目指していたが河川の遊泳禁止から限られた団体活動で昨年は終了。残念な思いは一度認可の看板が充分な説明もなく電話通知での撤去は合併後僅か数年の行動だけにこれから先が心配される。

自然に恵まれた富士川でカヌーの操りと流れの中で体験は素晴らしく、カヌーをとおして故郷の激流を

味わってみませんか。
将来は自分の力でカヌーを操り三大急流の富士川の流れを肌で感じていただき、激流下りで男のロマンが求められます。
初心者体験では乗る前の不安は大きいですが乗って直ぐに笑顔に変わり、湖面の滑りを楽しんでいきます。
現在の子供達は無茶な行動は出来ない、(沈)転覆する子供は少数で限られ、先ずカヌーの運搬、乗り方

これらの事業は750名の会員を中心にしていますが、体育協会のメンバー、一般の市民の皆様にも是非ご参加いただきグラウンド・ゴルフの楽しさを理解戴きたいと願っています。

グラウンド・ゴルフの誕生は33年前、鳥取県湯梨浜町(旧泊村)で地元自治会、教育委員会、文部科学省などの指導により生涯スポーツ推進事業として作りだされました。出発点は中高年のスポーツ活動の推進でしたが、開発の過程で終始一貫大切にされたことは「誰にでも優しい人間性豊かなスポーツ」と言うことです。「人間にスポーツを合わせる」発想を大切に個々のレベルで誰もが楽しめる工夫が随所にこらされています。

の指導から始めるので全く心配はありません。団体指導の場合ライフジャケット(浮き袋)全員装備、指導者は二人一組の指導体制で、全体が一歩出来る位置に監視員を配置し万全の体制で指導に当たります。

子供達は遊泳禁止の河川で心配ですが指導者が付き添い、水の怖さの体験と川遊びでカヌーで楽しさがわかります。

保有舟艇はペアアカヌーを含め二十五艇で子供会、スポーツ少年団、家族、団

す。

いつでも、どこでも、だれとでも楽しめるグラウンド・ゴルフこそ今進行している高齢化社会の中で最適な生涯スポーツとして私達は自信を持って積極的に推進していきますので、市民のみならず、高齢者のみなさまの参加をお待ちしています。

年間主な大会を7～8回参加選手500名～700名ですが、これらの大会案内・申し込みは市内42団体責任者宛てに書類が送付されています。
◎今年度の主な大会・会場は全て外神スポーツ広場
*4月6日・第4回富士山カップ杯・参加700名
*5月11日・第5回富士宮中央ライオンズカップ杯

体で利用が可能で事務局に問い合わせ下さい。

成人者は三時間の体験と二回の講習で舟艇貸し出しも可能(有料)。

平日或いは日曜に個人又は数人での貸し出しも可能なので気軽に問い合わせください。

代表 四條衍明
六五二二〇〇〇

指導者 風岡達也
六五一七四七

事務局 今井博之
六五〇五七一

合気道連盟

*6月8日・第23回富士宮市民グラウンド・ゴルフ大会
*7月20日・第37回市民スポーツ祭(区対抗)
*8月24日・第10回静岡県東部スポーツフェスティバル
*10月12日・第8回J A富士宮杯

*11月16日・設立10周年記念大会
*3月15日・第2回岳南新聞社杯(市民チャンピオン大会)
◎詳細を希望される方は、事務局長 秋山友昭(電話 2717520)まで

富士宮市合気道連盟は、(公益社団法人)合気会公認「富士宮合気会」とがみえん児童クラブ「合気道教室」(学校法人)富士宮学園富士宮高等専修学校「合気道同好会」の三つの団体で構成されている。5歳から65歳まで、老若男女が一緒に稽古し、年に一度の全日本合気道演武大会や全日本少年少女錬成大会、静岡フェスティバルなどへの出場、昇級・昇段審査合格を目指し、日々精進している。また、今年は6月19日に初めての市民スポーツ祭合気道演武大会及び合気道体験を開催、年3期にわたるスポーツ教室、発表会や講習会なども年間行事として取り組んでいる。合気道とは、開祖植芝盛平翁(1883～1969)が日本伝統の武術の奥義を極め、さらに厳しい精神的修行を経て創始した現代武道である。合気道は、相手といたずらに力で争わず、入

り身と転換の体捌きから生まれる技によって、お互いに切磋琢磨し合って稽古を積み重ね、心身の錬成を図るのを目的としている。合気道は、他人と優劣を競うことをしないため、試合を行わない。お互いを尊重するという姿勢を貫く合気道はいのちの大切さがうたわれる現代に相応しい武道と言える。ゆえに、合気道は競技を行わない。お互いの習熟度に合わせて技を繰り返し稽古し、心身の錬成を図ることを目的としているので、誰でも稽古できるので、稽古の積み重ねが健康に良いのは言うまでもなく、日常生活において何事にも積極的に取り組む自信が自然と培われてくる。道場には年齢、性別、職業、国籍を問わず多くの人が集まってくるので、道場は人間理解の目を深めるためには最適の場である。合気道が「和」の武道と言われる所以もここにある。

第六十六回 富士宮駅伝競走大会



昨晩の強風と強雨が止み、気温も上がり小雨が残っただけで、選手にとっては走りやすい第六十六回富士宮駅伝競走大会となった。二一五チームのエントリーがあり、二〇九チームが午前十時に市役所前をスタートした。

白糸周辺では霧が発生し、視界が悪い場所もあり、ペースを乱した選手も多かったようだ。しかし、沿道にはたくさんの市民の皆様の温かい応援があり、選手の大きな支えとなっていた。

一般の部一区では、東

京農大Aの小山選手が、区間三位の走りでタスキをつないだ。二区では、農大Bが逆転し白糸滝中継所では、四〇秒もの差をつけたが、四区（区間総合二位）五・六区（区間総合一位）で農大Aが再逆転し、二位農大Bに一分三〇秒以上の大差をつけ栄冠を獲得した。三位にも、農大Cが入った。

高校の部一区では、滋賀学園高の千葉選手（区間総合一位）と加藤学園高の小野寺選手（区間総合二位）が、一般選手をおさえタスキを渡すという快挙を成し遂げた。加藤学園Aは二区・三区で総合一位の走りで二位以下を大きく引き離し独走態勢に入った。しかし、四区以降のブレーキもあり順位を落とし、四区で逆転した滋賀学園が高校の部一位、総合の部五位というすばらしい成績でゴールした。二位には加藤学園B、三位には加藤学園Cがテープを切った。

中学の部一区では、富士宮第三中の上倉選手が総合二四位（中学一位）でタスキをつないだ。三区では岳陽中の長岡選手が総合一六位の走りで中学の部の首位に立ち、そのまま無難にタスキをつなぎ見事優勝した。二位には、富士宮四中、三位に富士根南中が入った。

女子の部では、柏日体高が一区から五区までトップを守っていたが、日大三島高が、四区以降の追い上げで二分以上あった差をひっくり返し、逆に四〇秒の大差を付け優勝を飾った。一位には、健闘した柏日体高校、三位には東京農大が入った。最後になりますが、大会運営をされた市当局、役員並びに関係諸団体の皆様、ご協力いただいた市民の皆様、厚くお礼申し上げます。本大会が、今後も益々発展するように、皆様のご協力をお願いいたします。

平成28年度役員

役職名	氏名
会長	石川 俊秋
副会長	伏見 由治
副会長	川原 謙仁
理事	西島 謙悟
理事	平野 修
理事	佐野 弘
理事	茂 雅恵
理事	渡辺 徳一
理事	須藤 美視
理事	石川 達夫
理事	小林 賢治
理事	小京 好美
理事	秋山 昭
理事	芦沢 勝
監	井渡 勝也



NPO法人として一年目を迎えました。昨年度に引き続き体育施設等の管理運営について、地域ステップアップサービスと共同で事業も行います。

四月十九日に協会加盟各競技団体社員出席のもとに、総会が開催され、平成二十七年事業報告、決算、平成二十八年事業計画及び予算、が審議され承認されました。

本年度事業としては、第三十七回市民スポーツ祭の開催、スポーツ団体及びスポーツ少年団活動の支援、大学対抗女子駅伝、市町対抗駅伝大会の協力、体協だよりの発行、しずおかスポーツフェスティバル開催への協力、富士宮駅伝の協力、功労者表彰、体育施設運営自動販売機管理運営等々の事業を行います。

左記役員を中心に市民のスポーツ普及、振興と市民の健康づくりにむけ努力いたしますのでご支援ご協力をお願いいたします。

**NPO法人富士宮市体育協会
平成二十八年度事業等**